

ホテルロイヤルクラシック大阪

歴史的ファサードを継承した「ひと・環境」配慮ホテル

建物概要

- 所在地：大阪府中央区難波4丁目
- 建築主：株式会社ベルコ
- 設計者：株式会社隈研吾建築都市設計事務所／鹿島建設株式会社関西支店一級建築士事務所
- 用途：ホテル（宴会場、レストラン、ラウンジ、客室、駐車場）

- 敷地面積：2,240.69㎡
- 建築面積：1,891.90㎡
- 延べ面積：26,574.3㎡
- 構造：一部鉄筋コンクリート造及び鉄筋鉄骨コンクリート造 鉄骨造
- 階数：地上19階／地下1階
- CASBEE評価：Sランク／BEE値3.0
- 重点評価：CO₂削減4.0／省エネ対策4.0／みどり・ヒートアイランド対策3.0



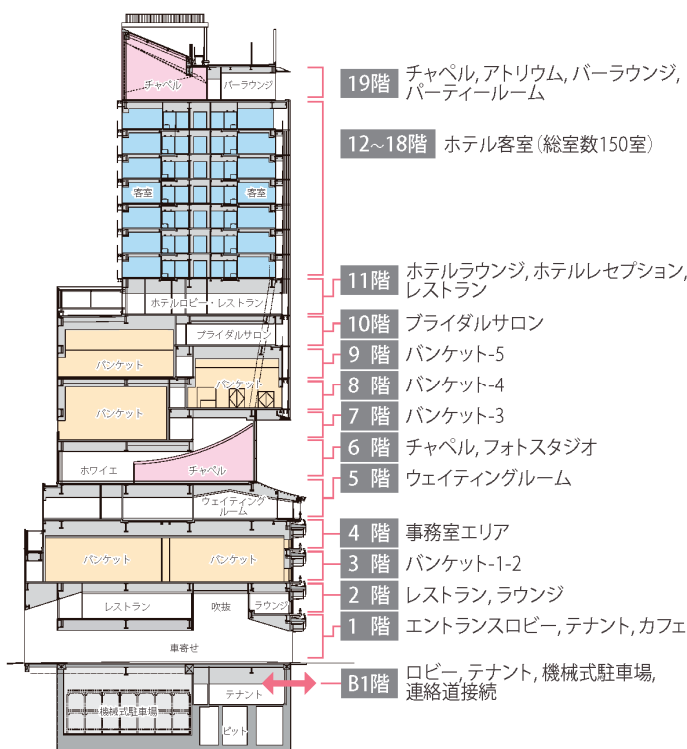
【立地、周辺環境】

御堂筋沿の大阪新歌舞伎座跡地。御堂筋以外の周辺は道路が狭小で飲食店舗が張り付いた限界である。交通の便利を活かしてなんば駅と地下接続を行い、交通負荷、環境負荷を減らした計画としている。村野藤吾の連続唐破風のファサードを継承し、御堂筋に新旧融合した美しい景観を形成した。

【総合的なコンセプト】

- ・5つの宴会場、2つのチャペル、カフェ、レストラン、展望バーラウンジ、150室の客室などから構成された多機能シティホテル。
- ・シンボリックなファサードのなかに、環境的にも配慮された様々な最先端の設備や建築の仕掛けがしつらえられている。
- ・建物を利用する人すべてにやさしく安全であり、ホテル運営側にも使い勝手やメンテナンス性の高い計画としている。
（様々な特殊運転のできるEV制御、高速パズル式機械駐車、表情を変えるライトアップ、清掃ゴンドラと客室階バルコニー、タブレット制御）
- ・ホテルホワイエや共用ロビーなどに著名作家や若手作家のアートワークを配置し、誰もが楽しめるミュージアム機能を併せ持つ。

建物断面構成図



環境配慮事項とねらい

C CO₂削減 省 省エネルギー み どり・ヒートアイランド対策

① 村野藤吾設計の旧「新大阪歌舞伎座」の歴史的ファサードの継承 C

・当時は RC 造であり経年劣化による耐震性から保存は困難であったことから、鉄骨造にて建て替え。歴史的ファサード主要部をすべて工場プレファブによるコンクリートパネルにより構築することで、型枠による廃材発生をなくしている。
 ・「新大阪歌舞伎座」の歴史的ファサードを難波の記憶として継承することで御堂筋の良好な景観に寄与。



- 連続唐破風屋根・曲面PC
- 庇鼻隠し：アルミ鋳造品
- 柱型：アルミパネル
- 外壁・バルコニー：PC
- 欄干手摺：アルミ鋳造品

② ホテルと大阪メトロ御堂筋線なんば駅との地下接続 省

・地下接続で、地下鉄出入口を敷地内に取り込むことで、これまで御堂筋地上歩道の真ん中にあった出入口を無くし、良好な歩行空間を実現。
 ・上記地下接続でホテル利用者に公共交通機関利用を促進することで、周辺への交通負荷抑制し、使用燃料削減によるCO₂の削減と省エネルギーに寄与。



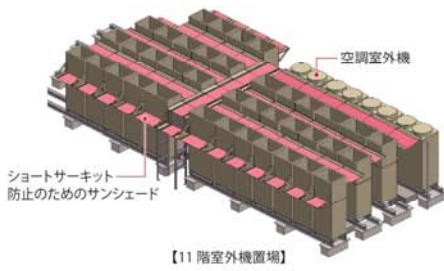
③ 客室内のタブレットコントロールシステムと外出時などの空調中央管理 省

照明、空調、清掃要否、フロントメッセージ、アラーム等の機能を1つのタブレットから自由にコントロールすることで、客室の使い勝手を向上させるとともに、設置するスイッチ類の削減を実現。
 また、外出時などに、自動的に設定温度をシフトすることでエアコンの過度使用を抑え、省エネルギーに寄与している。



④ 空調室外機の配置計画 み

建物地上外構に設置する室外機は最小限とし、建物中層階レベルに配置することでヒートアイランド化を抑制している。11階に設置した空調室外機は狭い屋根の上に、室外機を配置するため、ショートサーキット防止の工夫を行い、空調機の効率を上げている。



⑤ 御堂筋 外装ルーバー 省

旧「新大阪歌舞伎座」の歴史的ファサードに対し新たなファサードとしてアルミの縦ルーバーを東面である御堂筋側に設置。夏場の朝の日射軽減に寄与。設置する本数を室の用途に応じて変化させ、グラデーションのある大きな面でありながら圧迫感を与えない素材としてアルミ材を使用しており、将来アルミ地金の再生が可能である。



⑧ 大容量の雨水貯留槽設置

公共インフラの雨水排水負荷を低減する。

⑥ 様々なリサイクル建材を利用した内装デザイン C

バンケットやチャペルにはふんだんに木材や合板が使用されている。また、カーペット敷のエリアも多く、その下に吸音や歩行感向上のためにリサイクル材のフェルトが敷かれている。



⑦ 制震装置の採用

制震構造とし、高性能オイルダンパを適所に配置することで、建物の構造耐久性を向上。

